

社会的養護のノウハウを活かした地域の親子サロン及び里親サロンの開催

取り組み内容のポイント

サロンに参加するお母さんにアンケートを取りながら、誰でも気軽に、楽しく過ごせるサロンを目指している。

神奈川県 社会福祉法人

中心会

〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名10125
TEL：042-764-7046 FAX：042-764-7048

◆法人設立年

昭和28年

◆法人実施事業

①経営施設数合計：5施設

②経営施設・事業【種別毎の数】：

特別養護老人ホーム…4、訪問介護…1、短期入所…3、通所介護…3、養護老人ホーム…1、養護短期入所…1、訪問入浴…1、居宅介護支援…2、地域包括…2、児童養護…1

◆法人の理念・経営方針

私たちは、私たちが活動する地域社会において、自分や自分の大切な人が抱える心身の障害や生活環境上の問題によって、様々な「不自由」「生きにくさ」を現に経験し、また、経験するだろうリスクを有する人々に対して、適切な専門性の担保された養護、介護、及びこれに関連する諸サービスを提供することを通じて、誰もが自分の存在に誇りを持ち、生きる喜びを享受するとともに、自分の家族や隣人の存在を素直に喜ぶことができる社会づくりに貢献します。

◆取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

①定款記載の有無：記載していない

②事業報告・計画への記載：記載している

◆取り組みを実施している施設の概要

【施設名】中心子どもの家

【施設種別及び利用定員】児童養護施設 50名

◆活動内容

◇活動開始年：平成18年1月

◇活動の対象者：地域住民、乳幼児、小学生他

◇活動の頻度・時間：

・サロンは毎月2回10時～15時（昼食持参でサロン後もおしゃべりしながら楽しく過ごしている）

・施設は365日開放しており、事前に連絡をいただければ自由に活動の場として提供している。

◆活動実施の背景、実施にいたった理由

児童養護施設の入所児童の7割近くが保護者からの虐待を受けてきたという現状の中で、当施設で培ってきたノウハウが地域に還元できないかと考え、子育て講座、育児相談、ショートステイ等の子育て支援をこれまでも実施してきた。「地域社会に根を張り、地域社会を育てるとともに、地域社会に支えられる」という法人の信念もあり、当施設が相模原市において、子育て中の母親、父親が何か困ったことがあったら、気軽に相談できるような地域に根差した存在でありたいと考えている。

◆実施内容

月2回、地域の子育て中の親子の交流の場、憩いの場として、施設内のコミュニティホールにおいて毎回8組から15組の親子が参加してワイワイと楽しく活動している。内容は、近隣保育園の先生の指導によるリズム遊びや、市内の読み聞かせサークルによる人形劇、英語遊び、布おもちゃ、制作活動など様々で、保育士以外に里親、ボランティアの方々の協力を得て行っている。今年の夏は、母親からの要望で、屋上プールを開放し、9組の親子が参加し、とても喜んでいただいた。また、サロン以外にも、ベテラン保育士による子育て相談、公民館へ出向き、「よろず子育て相談」を実施予定である。

施設は近隣の子どもたちにも活動の場所として提供しており、今までも、映画鑑賞会やクリスマス会など、子ども会の行事や学校の謝恩会の会場として施設を提供している。

また、当施設は里親会事務局として里親支援も行っている。里親相互の連絡窓口として、活動の拠点や研修の企画、里親の啓発・啓蒙活動や相談窓口にもなっている。今年度は、新たに、里親サロン「あじさいカフェ」をオープンした。里親同士が楽しくおしゃべりをしながら、情報交換の場として利用していただくことを目的としている。9月には、講師の先生を招いて「木の手作りネックレス」制作を企画している。



親子サロン「おもちゃばこ」



布おもちゃで遊ぼう



今日は何をするのかな？

援にも努めていきたい。

乳幼児も気軽に参加できるようにキッズコーナーの設置、授乳時に必要なパーテーションや、おむつ交換台も設置し、乳児のいるお母さんも安心して参加できるよう設備を整えていく予定。

また、里親支援では、市内唯一の里親支援機関として、里親啓発から養成と里親からも信頼される機関としてさらなる充実を図っていきたい。



お母さんと一緒に……

◆活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

親子サロンでは、毎回、参加者にアンケートを実施して、親子の要望、困った事等を受け、次回のサロン活動に活かし、親子が気軽に参加できる心地良いサロン作りを行い、母親同士の口コミによる参加者が増えている。サロン後に、施設内の和室を開放して昼食を食べながら楽しく過ごしている。アンケートには、「お昼を皆で食べる場所があって助かる」「遠慮なく参加できる」といった声も聞かれ、サロン後もゆっくりと過ごしていただける母親が増えている。また、サロン以外にも、雨の日に室内の遊び場を提供したりと、普段の日より施設の開放を行っている。

◆今後の展開

現在活動している場所を地域の親子サークルなどにも開放し、施設を拠点にした地域の親子の関わりを通して、相談事業など子育て中の親子の支

◆主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
消耗品費	4,000円	地区社協助成金	20,000円
印刷費	4,000円	法人負担金	5,000円
材料費	6,000円		円
楽器・図書	9,000円		円
お茶代	2,000円		円
<合計>	25,000円	<合計>	25,000円

- ・取り組みに係わった職員数 3名
(職種等：保育士)
 - ・取り組みを実施している施設の事業規模
(平成22年度決算の事業活動収入) 205,704千円
- ※法人全体の事業規模(同上) 1,867,384千円